

## 入試に臨むまでの心構えを考える

開倫塾

塾長 林 明夫

①こんにちは、開倫塾の塾長の林明夫です。

今日も開倫塾の時間を聞いて頂いて有り難うございます。

②3月7日は、栃木県の県立高校の入学試験があります。

そこで今日は試験までどのような心持ちで臨んだらいいのかをお話しさせて頂きたいと思えます。入学試験、特に県立高校の入学試験では、世の中にでて役に立たないものは一つも出ません。そういう意味では、高校入試は小学校中学校の義務教育の最後のまとめをするものだ、という気持ちを入れて勉強して頂きたいと思えます。

入学試験の勉強の中で、細かいことを覚えても何の役にも立たないのではないかという考えがあります。そんなことはありません。世の中に出て、役に立つこと、特に基礎的な知識が出題されるのが、栃木県などの県立高校入学試験の問題です。重箱の隅をつつくような奇問難問、いわゆる変な問題は全く出ません。ですから自信をもって入学試験の勉強をしてください。

特にお願いしたいのは、この入学試験を通じて、自分の勉強の仕方、どのように勉強したらいいのかを身につけ、それを通じて自分の知性を磨き続ける、自覚的に勉強し続けるという意識を持つこと。あと1週間弱しかありません。やり抜き気持ち、やる気が最も大切です。

③今頃は、だいたいどなたも栃木県の過去5年間の問題を総ざらいして勉強されていることだと思います。そのとき、問題を解いて、出来なかった問題の番号の前に丸印をつけ、なぜできなかったのかを一問一問ゆっくり考えてください。

④以前にも話したかもしれませんが、学習の段階には3つあります。一つ目は「理解」をしているかどうかの段階。例えば、栃木県の県庁所在地は宇都宮市であるということ考えた場合、栃木県とは何かとか、県庁所在地とは、宇都宮市とはどの辺にあるのか。栃木県とは全国の都道府県の一つである。県庁所在地とは何か。このようなことはよく分かったほうがいい。そのようなものごとの意味が分かることを、ふにおちることを「理解」と言います。

- ⑤なるほど「理解」できたら、次は、その内容がよく身に付いている、つまり「定着」していません。「定着」というのは栃木県の県庁所在地は宇都宮市であるということ「憶える」、「暗記する」ことが一つ。「暗記」し終えたら、栃木県、県庁所在地、宇都宮市という「文字が書ける方」がいいです。「文字が正確に書ける」ことによって理解した知識が「定着」します。
- ⑥最後に試験の問題を見たときそれが解けるか、実際の世の中に出て行ったとき、それが応用できるかという段階に入ります。問題が出たとき「宇都宮市は（ ）県の県庁所在地です。」といったら（ ）内に栃木県とかけなければならない。
- ⑦又、実際の生活場面で、県庁に行かなければならない場合、「あそうか、宇都宮に行かねば。」と思いき、今いるところから宇都宮まで行き、県庁までたどり着かなければ応用できたことにならない。「理解」する段階、理解したものを「定着」する段階、「応用」できる段階というように、学習のプロセス、課程には3つあります。その3つの中で、今間違った問題は果たして、「理解」できていなかったのか、「定着」していなかったのか、それともまだ少し「応用力」が足らなかったのか、どこの段階でつまづいたのかははっきりさせること。もし、「理解」できていなかったら、もう一度、易しい参考書や教科書をゆっくり読んで「理解」してください。
- ⑧よく分からないところは学校の先生とか、友人とか、塾の先生とかに聞いて頂ければ答えてくれると思います。「ふに落ちる」までにしてください。次は「定着」、暗記、記憶、書く練習をします。ペーパーテストですから、書かなければ点数になりません。パターン練習も「定着」の段階でたくさんして下さい。ちょっと難しい、ひねってある問題については、その練習も。自分がどこでつまづいたのか、「理解」する段階か、「定着」の段階か、「応用」の段階かをはっきりさせ、その対策をとることが一番大事です。まだ1週間弱ありますからいくらでも勉強は可能です。3段階をしっかりと分け、自覚しながらやるということで、自分の力で勉強する力、つまり、自己学習能力、を身につけて頂きたい。これがみなさんの「知性」を磨くことに結びつきます。

いま、世の中はデフレと不況、大株安でニッチもサッチも行かない状況ですが、問題を解決する場合には「ベストプラクティスのベンチマーキング」と言ひまして、世の中で一番素晴らしい、实例をベンチマーキング、視察し見習い勉強するということが大事です。それをした上で、「自分で物事を考える」という段階が出てきます。そのときに知性に差が出てきます。そこで常日頃から「知性を磨いておく」ことが大事です。知性を磨くために、自分の勉強は自分なりの方法です。自分の頭の脳をきたえ、磨き抜いて、与えられた課題について問題解決をするということが大事ですから、是非この高校入試を通じて、自己学習能力身につけ、最終的には自分の知性を自分の力で磨き続けるということを心がけて頂ければと思います。もう一歩ですから、どうか頑張ってください。